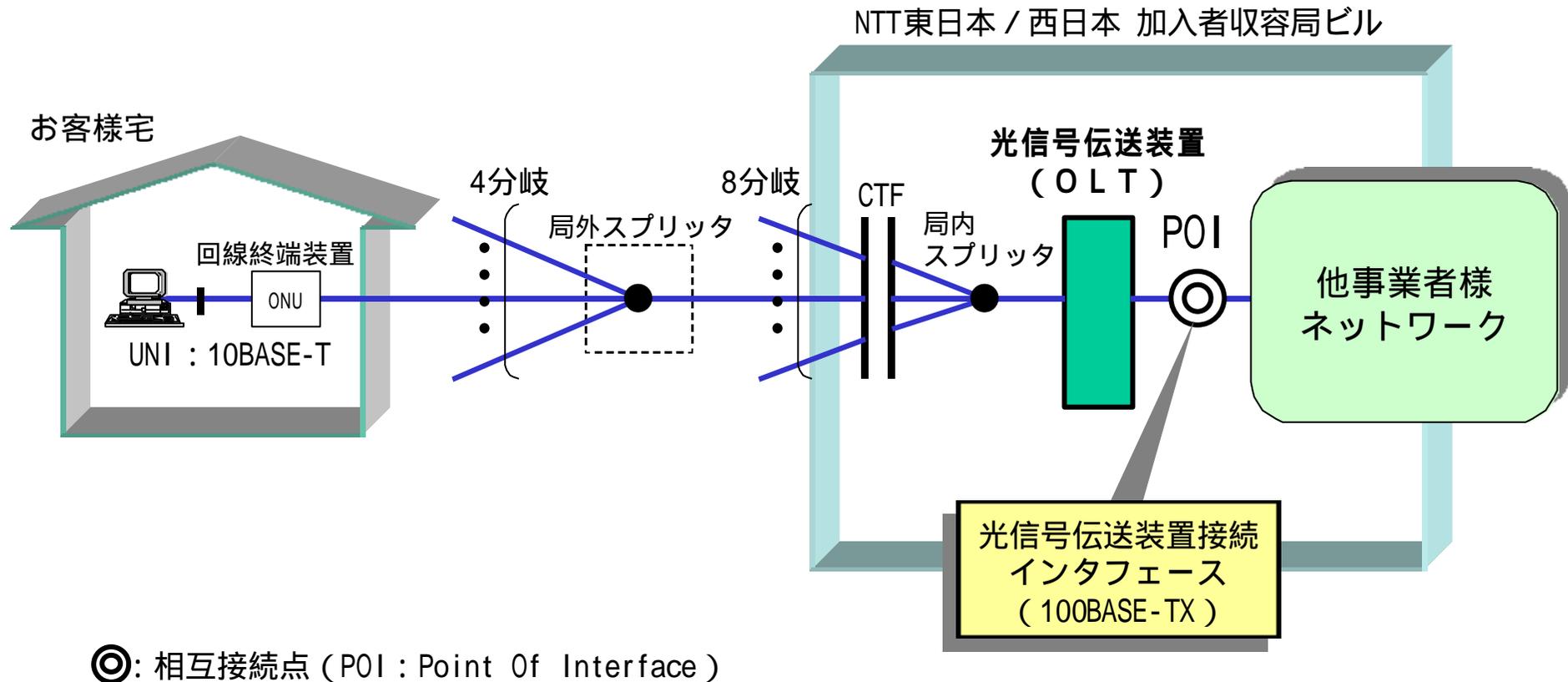


端末回線伝送機能(加入者光ファイバを使用する  
最大10Mb/sのシェアリング方式)のインタフェース  
(光信号伝送装置接続インタフェース)条件につ  
いて

2001年7月26日  
東日本電信電話株式会社  
西日本電信電話株式会社

# 1. インタフェースの概要

「光信号伝送装置接続インタフェース」は、最大10Mb/sのシェアドアクセス方式を利用する光アクセスラインの収容局接続メニューと接続するためのインタフェースです。



## 2 . インタフェース条件

「光信号伝送装置接続インタフェース」で規定する範囲は、物理層からデータリンク層までとなります。

レイヤ種別	参照規格
データリンク層 (レイヤ2)	IEEE 802.3 (MAC) IEEE 802.1Q (VLAN)
物理層 (レイヤ1)	IEEE 802.3 (100BASE-TX) ISO/IEC 8877 (コネクタ仕様) ISO/IEC 11801 (ケーブル仕様)

## 2.1 物理層【レイヤ1】仕様

物理層【レイヤ1】仕様は、IEEE 802.3 Clause24及びClause25 (100BASE-TX) を適用します。

主な項目	規 格
通信モード	full duplex
ケーブル仕様	ISO/IEC 11801 EIA/TIA-568A CAT5 準拠
コネクタ仕様	ISO/IEC 8877 準拠

## 2.2 データリンク層【レイヤ2】仕様（1/2）

データリンク層【レイヤ2】仕様は、IEEE 802.3 Clause3及びClause4を適用します。なお、輻輳制御としてはIEEE 802.3 Annex31Bに準拠したpauseオペレーションを適用します。

### フレーム構成

フレーム構成は、IEEE 802.1Q Clause9に準拠したタグ付フレームとし、タグ・ヘッダのフォーマットにはEthernet-encoded tag headerを適用します。

プリアンブル	SFD	宛先 アドレス	送信元 アドレス	VLANタグ	長さ /タイプ	LLCデータ	PAD	FCS
--------	-----	------------	-------------	--------	------------	--------	-----	-----

### 宛先アドレス

NTT東西の光信号伝送装置（OLT）から他事業者様のネットワークへ送信されるフレームの宛先アドレス（Destination Address）は、個別アドレス（Individual Address）または以下に示すグループアドレス（Group Address）とします。

宛先アドレス	タイプ
0xFFFFFFFFFFFF	0x0806（ARP）
0xFFFFFFFFFFFF	0x8863（PPPoE）

## 2.2 データリンク層【レイヤ2】仕様(2/2)

---

Tag Control Information (TCI) format

Tag Control Information (TCI) formatは以下のとおりです。

User_priority (3bit)	CFI (1bit)	VID (12bit)
-------------------------	---------------	----------------

user\_priorityフィールド及びCFIフィールドの値は“0”とします。

VIDフィールドにおける設定可能な値の範囲は“512～1023”とします。(\*1)

(\*1) VID値については、ONU単位に1つの値が付与され、OLTの1ポートに収容される全てのONU間で重複することなく設定されます。なお、VID数の上限値及びVID値については、光信号伝送装置のポート毎にNTT東西が指定します。